新 みまさかの公民館［津山市］ №125
津山教育事務所管内３市５町２村　生涯学習・社会教育広報紙
令和４年７月１日発行　美作地区社会教育協議会

（お問い合わせ）
各市町村教育委員会　または　津山教育事務所
［美作地区社会教育協議会事務局］（0868-24-8703）

津山東公民館

【小学生対象】クイズで楽しく学ぼう！「子ども探検会」

春休み期間を利用して、城東地区の名所を歩きました。講師から出題されたクイズの答えを見つけながら歩き、答えだけでなく子ども独自の目線で新しい発見もできるようになっています。自分で見つけ出すところが、まさに探検！ 楽しみながら自分の住む地域を知る工夫がなされています。

幅広いテーマ＆多世代をつなぐ講座づくりの工夫

❶大人向けで始めた講座の対象を子どもまで拡大させてみる！
❷小学生と高校生、中学生と大人など異世代でコラボさせてみる！
❸内容によっては、子どもが講師になって教える機会をもたせてみる!
❹前年度での学びを発展させて、講座をシリーズ化させてみる！
❺地域にある寺社も人々が集って学ぶ地域の拠点として捉えてみる！
❻地域の企業が積極的に行う地域貢献活動にも注目してみる！

【中学生対象】「津山の魅力を探れ！パソコン学習会」

パソコンやインターネットの使い方、利用の注意点等について実践的に学びます。“津山市の産業・文化”についてテーマを決め、作成したイラスト、取り込んだ画像も活用して、調べたことをまとめます。発表や感想交流をとおして、スキルを身に付けるだけでなく、地域の魅力を知る、そして、参加者同士がつながり合う講座となっています。

【高校生対象】「地域おこし協力隊員と高校生のトーク会 ～“これから”を一緒に考える～

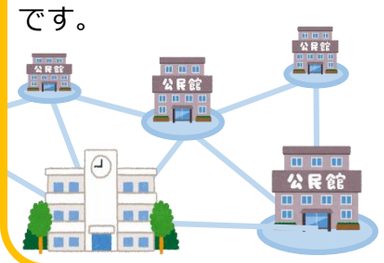
「将来、やりたいことがわからない」「自分のめざしたい方向は？」等、“これから”に不安を感じる高校生が、地域で活動する人生の先輩からお話を聞き、語り合う講座です。高校生になっても、公民館が地域の学び場・居場所であり続けたいという思いで実現した講座です。「子ども学習会」での勉強サポートや「高校生作品展」等、高校生の活躍の場づくり、そして、同世代だけにとどまらないつながりづくりがなされています！

津山東中学校CS立ち上げをきっかけに
公民館がつながり合ってできること

津山東公民館は、中道中学校区にある公民館ですが、所管するエリアには津山東中学校区も含まれています。これにより、どちらの中学校にとっても、子どもたちの育ちを支える地域の拠点となる“公民館”として、子どもたちの居場所、学びや活躍の場づくりを進められています。

そのような状況の中、令和３年度より、津山東中学校がコミュニティ・スクール(以下､CS)となりました。 CS には、校区内にある６公民館の館長が学校運営協議会委員として所属しています。この６公民館長と津山東公民館長が集い、月１回開催している「津山東中学校区公民館長会」には、学校関係者（管理職、地域連携担当教職員）も出席し、地域の公民館と学校との連携・協働の要として情報交換を行っています。

この情報交換では、学校と連携した公民館講座の企画・アイデアの交流、公民館活動や運営相談、学校での環境整備や放課後学習のボランティア募集の協力依頼など、ねらいや思いを共有しながら、活動の具体について話し合われています。例えば、「公民館での美術部作品展示」や「卓球部と公民館卓球グループとの交流試合」は、生徒の意欲向上、活躍・発表の場づくり、地域住民とのつながりづくり等、地域と学校が連携・協働することの良さが実現されている好事例です。



地域の人材を紹介！

高校生の学びと活躍の体験を未来に向かう力にしたい

希望高等学園は、通信制でも学ぶことのできる高等学校です。公民館とのつながりは、生徒募集ポスターの掲示をお願いに館を訪れ、安藤館長から高校生の子どもたちについて尋ねられたことがきっかけでした。高校生という「将来が次第にリアルになり、焦りや不安を抱えがちな年代」が、様々な生き方について生の声を聞き、自分の将来を考える講座に参加することは、高校生にとって自分自身を見つめる貴重な経験となりました。その後も、小学生に勉強を教える機会は自己有用感の向上やつながりづくりにも結びついています。公民館での高校生の学びや活躍は、きっと未来に向かう力にもつながっていくと思っています。

希望高等学園
代表 小林 和彦さん

★☆★☆ わたしのモットー ★☆★☆
結びつきを大切につながり続ける

津山東公民館
館長 安藤 豊史さん

平成31年度から、津山東公民館で館長を務めています。着任後、公民館主催講座として、新たに３講座（「生き生き子ども教室」「中高キャリア学習」「Try大人の学習」）を開設しました。大人だけでなく「小･中学生が気軽に立ち寄れる公民館」「高校生の居場所学びの拠点」等、幅広い世代が足を運んでくれる「地域の公民館」にしたいと考えています。

そのためにも、私自身が公民館を訪ねてくださる方々との出会いを大切にしたいと考えています。何気ない会話から新たな講座が生まれることもあります。地域の多世代の方々、地域の特色ある資源、それぞれを結びつけながら、地域に愛着をもった人づくりに努めたいと思っています。